

# 報 道 資 料

令和4年3月14日  
奈良県明るい選挙推進協会  
(事務局 選挙管理委員会事務局内)  
0742-27-8419 (内線2252)  
担当：森口、越智

## 令和3年度 奈良県白バラ大会 大会決議

このことについて、本日、標記大会において別紙大会決議が採択されましたのでお知らせします。

なお、本大会について本年度は下記の内容でオンライン開催いたしました。

### 記

- 1 開催趣旨 民主政治は、国民の政治への積極的な参加によって支えられ、創られていくものであることから、国民による投票への総参加を目指し、国民参政の意義と選挙権の重要性を再確認するとともに、明るい選挙の推進に対する意識向上を図る機会として本大会を開催する。
- 2 開催日時 令和4年3月14日(月) 14:00～15:20
- 3 開催方法 オンライン開催
- 4 参加者 各市町村選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会等関係者等
- 2 次第 講演  
テーマ：「データで読み解く地方選挙～近年の地方選挙の投票率等について」  
  
講師：関西大学総合情報学部長 名取良太氏

### 大会決議

「令和3年度 白バラ宣言」

# 奈良県白バラ大会 大会決議

民主政治は、主権者としての国民の政治参加によって支えられ、創られていくものです。国民一人ひとりが、有権者としての自覚と熟成した政治意識を身につけ、積極的に投票に参加することが、民主政治の発展のかぎとなります。

衆議院議員総選挙の投票率は、小選挙区比例代表並立制導入後最も高かった第45回衆議院議員総選挙(71.47%)以降低下傾向が続いており、近年は50%台となっています。昨年10月実施された第49回衆議院議員総選挙の投票率は、同日に行われた奈良県議会議員(奈良市・山辺郡選挙区)補欠選挙の影響もあり、59.13%と全国で7番目の高さとなりましたが、依然として低い水準にあります。

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられましたが、18歳及び19歳の県内の投票率は45.25%にとどまるなど、若い世代の投票率も依然として低い水準にあり、このことは誠に憂慮すべきことです。

また、選挙違反も依然として絶えないことから、わたくしたち国民の政治や選挙に対する意識改革がなおも課題として残されています。

そこで、わたくしたちは、本大会が国民参政の意義と政治参加の基本的機会である選挙の重要性を再確認するとともに、公正で明るい選挙の推進に対する意識を改めて高める契機にふさわしいと考え、次のように呼びかけます。

- 1 候補者は、選挙のルールを守り、公正な選挙運動を行うとともに、日頃から国民の信頼に応えるべく、不断の努力を心がけること。
- 2 有権者は、自らの一票が今後の政治のあり方を決める重大なものであることを深く認識し、一票の権利を大切に行使すること。
- 3 わたくしたち県民は、「贈らない、求めない、受け取らない」という三ない運動をさらに推進し、明るくきれいな選挙の実現に向けて、より一層の努力をすること。

以上、決議します。

令和4年3月14日

奈良県白バラ大会参加者一同